

信州こどもカフェの取組の紹介

長野県県民文化部こども若者局
次世代サポート課

1 ユースセンター（高校生等の居場所など）

- ・ 家庭・学校でない、第3の居場所
- ・ 若者自身が主体的に関わっている居場所
- ・ 地域に影響力が発揮できている
- ・ 若者に寄り添うユースワーカーがいる

⇒ 信州未来共創戦略に基づく県のアクションに、「地域ごとのユースセンターの設置を促進」を明記し、元気づくり支援金の活用等により推進

2 信州型フリースクール

- ・ 令和6年4月に全国初となる「信州型フリースクール認証制度」を創設

認証数 **43か所** ※ R7.11月末現在

（内訳：学び支援型 28か所、居場所支援型 15か所）

学び支援型：居場所支援のほか、比較的高い開所頻度により、学びの提供に積極的に取り組む施設

居場所支援型：学び等の土台となり得る、社会的自立や生活自立に向けた相談支援に重点を置いて

取り組む施設

3 信州こどもカフェ ⇒ 本日のテーマ



「信州こどもカフェ」とは？

- 県内で実施され、**営利を目的としない居場所**
- 月1回以上**定期的**に開催
- 食事提供又は学習支援を軸に、悩み相談や多世代交流など**複数の取組を提供**

平成28年頃から子どもの貧困や子ども食堂が社会的に注目され始めた。

⇒ 食事提供のみを行う「子ども食堂」ではなく、様々な機能を持つ居場所があることが大切である。

⇒ 「信州こどもカフェ」の**愛称**を定め、推進を開始

生活に困っている子どもが行く場所



子どもから高齢者まで、地域みんなの居場所

「信州こどもカフェ」に関するこれまでの県の取組

年度	主な取組内容	こどもカフェの箇所数
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信州こどもカフェの愛称決定 ・ 信州こどもカフェモデル事業【2地区】 ・ 地域プラットフォームモデル事業【2地区】 	2
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域プラットフォームを10地域に構築 	14
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域プラットフォームの人材育成 	82
令和元年度～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信州こどもカフェ運営事業補助金 ・ こどもカフェマップの作成 など 	R1: 117 R2: 133
令和3年度～	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードドライブ統一キャンペーン 	R3: 159 R4: 191 R5: 218 R6: 224 R7.9: 232

「地域プラットフォーム」の設置



しあわせ信州

- ・平成29年度に県の地域振興局が設置されている10地域に、**「信州こどもカフェ推進地域プラットフォーム」**を設置
- ・信州こどもカフェの設置・活動推進を図り、地域ごと、特色を活かした取組を実施
- ・構成団体：こどもカフェ運営団体、地域内の市町村、自治会、民間企業 等
- ・活動内容：研修会・講演会の開催、こどもカフェのチラシの作成、フードドライブの実施、寄付食品の分配等



信州こどもカフェ運営支援事業補助金

- ・ 令和元年度に信州こどもカフェや地域プラットフォームの運営を支援するため、「信州こどもカフェ運営支援事業補助金」を創設（企業・団体や個人の方からの寄付が原資）
- ・ 県から同補助金の交付を受けた長野県社会福祉協議会において各団体に助成

【実施主体】 長野県社会福祉協議会

【R7予算額】 9,730千円

【採択実績】

	信州こどもカフェ	地域プラットフォーム
R1	41件	6件
R2	62件	7件
R3	83件	8件
R4	74件	7件
R5	65件	6件
R6	60件	9件
R7（見込）	80件	7件

令和7年度「信州こどもカフェ運営支援事業」

こどもカフェ

【対象経費】
こどもカフェの活動に要する経費
(食材費、賃借料、謝金、旅費、
印刷費、消耗品費、燃料費等)

【助成金額】
1団体あたり4～20万円以内

※ 1団体当たり3年に限る

	開催頻度に合わせた上乗せ補助			
	月1回	月2回	月3回	月4回
	(上乗せなし)	5万円	8万円	12万円
弁当配布・食料配布	2万円			
新規開設	2万円			
基本額	4万円			

地域プラットフォーム

【対象経費】
こどもカフェに係る地域連携支援活動のための経費
(賃借料、謝金、旅費、印刷費、消耗品費、燃料費、使用料等)

【助成金額】
1団体あたり10万円以内

「信州こどもカフェ」への寄付の状況 (1/2)

【企業・団体、個人の方からの寄付金】

寄付金は、信州こどもカフェ運営支援事業助成金の財源として活用

■ 令和3年度以降の寄付金額（使途目的：信州こどもカフェ）

受領年月	寄付元	年度寄付金合計額
R3	4 企業・団体	608万円
R4	4 企業・団体	640万円
R5	5 企業・団体、個人の方	745.1万円
R6	4 企業・団体	796.4万円
R7	6 企業・団体、個人の方	1,922万円

「信州こどもカフェ」への寄付の状況 (2/2)

【クラウドファンディング】（ガチなが）

クラウドファンディングでの寄付金を活用し、
信州こどもカフェ運営支援を拡充

実施期間	
R3	R3.12.1 ~ R4.1.31 実績：284万円（64人）
R4	R4.12.1 ~ R5.1.31 実績：362.7万円(55人)
R5・R6	R5.12.4 ~ R6.11.30 実績：418.6万円（37人）
R7	R7.4.1 ~ R8.3.31（実施中） 実績：55.8万円（R8.1月末現在）



食品や燃料、日用品の価格高騰などで社会が不安定な今、「十分にごはんを食べられない」「学ぶ機会を持っていない」という子どものための、居場所が必要です。
いただいた寄付金は、「信州こどもカフェ」の運営費支援のために活用し、食や学び、交流の機会を提供します。



「信州こどもカフェ」とは？

食事提供または学習支援に加え、悩み相談、多世代交流など様々な取組を定期的に行う居場所の愛称です。
令和7年3月現在、200か所を超える信州こどもカフェがあります。
詳しくは県公式ホームページをご覧ください。

長野県直営 共創型ふるさと納税受付サイト「ガチなが」で寄付を受け付けています。
手続きの詳細は募集ページまたは裏面をご覧ください。



長野県

【企業からの食品の寄付】

野菜飲料、チョコレート、レトルトカレー、みそなど
⇒ 地域振興局経由で信州こどもカフェへお届け

フードドライブによる食料支援

- ・ 企業や家庭にある食料品を集める活動
- ・ 令和3年度から、県内でフードバンク活動を行う団体や県関係課で構成する「フードバンク活動団体連絡会」を設置し、県下一斉に「**フードドライブ統一キャンペーン**」を年3回実施

【活用先】

信州こどもカフェや市町村社協で子どもや生活困窮者に提供

【実施実績】（県庁・合庁実施分）

	回数	重量
R2	43	16,676kg
R3	44	28,223kg
R4	36	25,326kg
R5	33	19,220kg
R6	33	17,780kg
R7	33	10,475kg



「信州こどもカフェ」の現状と課題 (1/2)

○信州こどもカフェの運営状況等に関するアンケート調査結果(R7.9)

調査時期	令和7年9月2日～9月25日
調査対象	信州こどもカフェ232か所（回答数：89か所）
「開催にあたって課題となっていること」主な回答	
・ <u>食材費の負担が大きい</u> 51.7%	
・ <u>運営者など、特定の人にかかる負担が大きい</u> 50.6%	
・ <u>ボランティアが不足している</u> 39.3%	
・ 助成金の見通しが不安 36%	

⇒ 【課題】

食材費等の運営費の確保、ボランティア（支援者）不足

「信州こどもカフェ」の現状と課題 (2/2)

【課題】 設置か所の地域差

設置率(R7.9)	
市	100%
町	83%
村	49%



子どもの数が少ない…
送迎がないと通えない…

多くの子どもがアクセスしやすいよう、
空白地域を埋めていきたい！



現状

令和7年9月：232か所（55市町村）設置 **未設置22町村**



目標

令和9年度末：270か所（77市町村）

（長野県子ども・若者総合支援計画による）

※10年後の設置目標は、小学校区の数と同じ356か所

こどもカフェ

【対象経費】

こどもカフェの活動に要する経費
(食材費、賃借料、謝金、旅費、
印刷費、消耗品費、燃料費等)

【助成金額】

1団体あたり5~24万円以内

【助成3年目まで】

	開催頻度に合わせて上乗せ補助			
	月1回	月2回	月3回	月4回
(上乗せなし)		5万円	10万円	15万円
弁当配布・食料配布	2万円			
新規開設	2万円			
基本額	5万円			

- 基本額及び開催頻度に合わせて上乗せ補助を拡充 (物価高騰対応)
- 4年目以降の支援を新設。一律、年5万円(上限)を助成。

地域プラットフォーム

【対象経費】

こどもカフェに係る地域連携支援活動のための経費
(賃借料、謝金、旅費、印刷費、消耗品費、燃料費、使用料等)

【助成金額】

1団体あたり10万円以内

【新】信州こどもカフェサポートセンター（仮称）運営事業 （令和8年度から予定）



【設置目的】

県・サポートセンターが中心となり、企業・団体等との連携による寄付金やボランティアの確保等に取り組み、全ての地域に信州こどもカフェが設置され、持続可能な運営ができるよう支援

【主な役割】：県社協へ委託（コーディネーター2名配置）

① 資金調達、食材等の物資・ボランティアの調整支援

- ・ 個々のこどもカフェのファンドレイジング（資金調達）ノウハウの伝授
- ・ 食材提供やボランティア等の支援に関する企業・団体等との連携強化
- ・ こどもカフェと食材提供者やボランティアとの仲介・調整
- ・ 人材（中核人材・ボランティア）の確保・育成

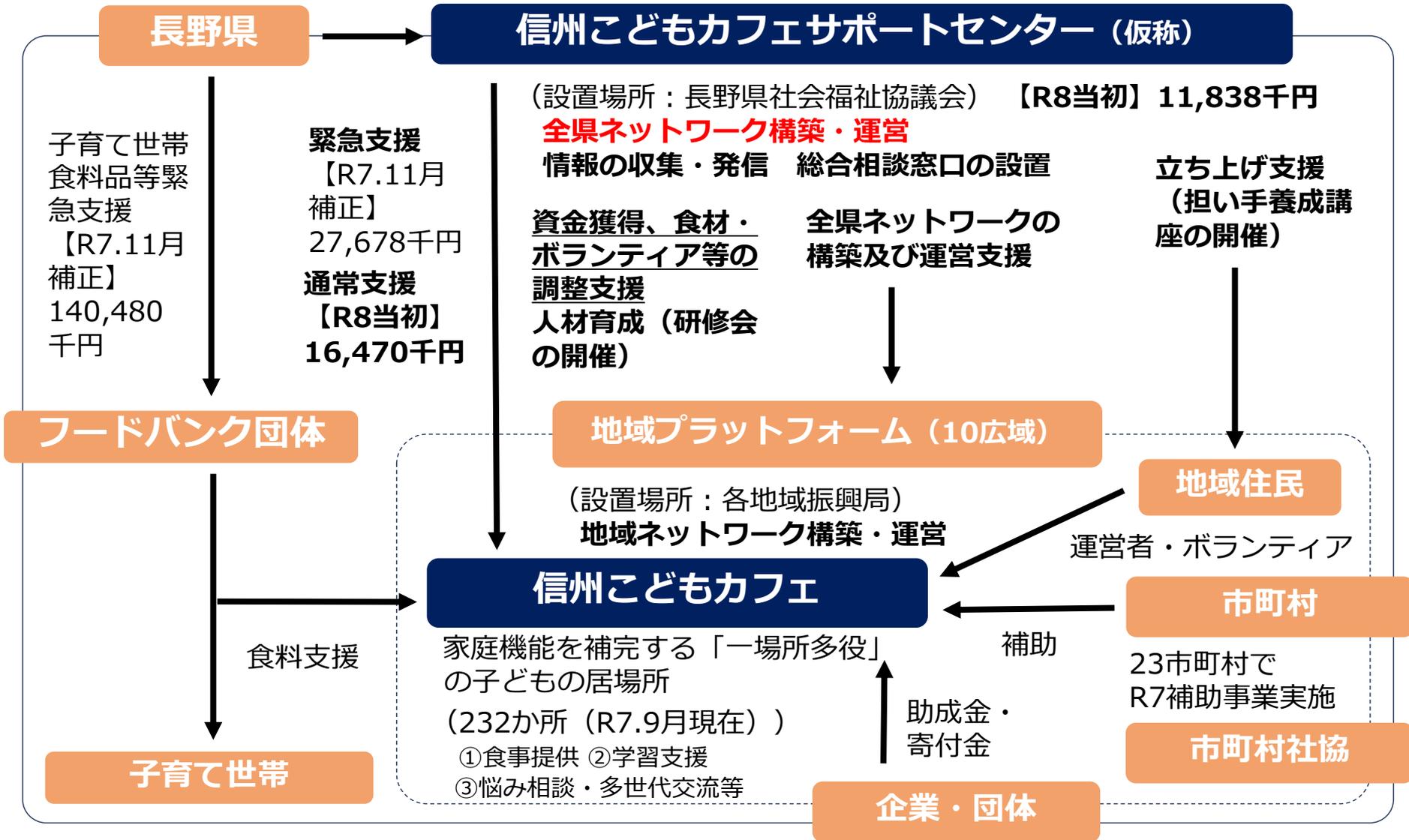
② 信州こどもカフェに関する情報の収集・発信（対県民PRを含む）

③ 総合相談窓口の設置、コンサルタント（立上げ支援を含む）

④ 全県ネットワークの構築（連携会議の開催等）

⇒ フードバンク団体、地域プラットフォーム、市町村等と連携して重層的に支援。

「信州子どもカフェサポートセンター」 (仮称) 関係図



⇒ 県(サポートセンター)が中心となり、企業・団体等との連携による寄付金やボランティアの確保に重点的に取り組むとともに、フードバンク団体、地域プラットフォーム、市町村等と連携した重層的な支援により、信州子どもカフェの自走と活動の継続・普及拡大を目指す

ご清聴ありがとうございました



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ